

三重県内中小企業からの働き方改革相談内容

三重県では、平成29年度、働き方改革(企業でのワーク・ライフ・バランス)に取り組もうとする企業の皆様へ『働き方改革相談窓口』を設置しました。また、ご要望に応じて『働き方改革アドバイザー』を派遣し、改革をサポートいたしました。

主な支援内容

他企業での取り組み事例の紹介、各種制度・セミナー等の情報提供
現状把握、課題ニーズ調査の支援
実行計画の策定支援
会議やワークショップのファシリテーターとして
就業規則等のチェックや制度見直し支援
各種補助金、助成金の活用支援
働き方改革の為にWLBや意識改革などの研修

相談内容別件数(申し込み時)

17	業務効率化・生産性向上したい
15	働き方改革について知りたい
15	人材の定着・確保をしたい
13	職場の意識改革・風土改善をしたい
12	現状分析や課題を把握したい
9	女性が活躍できる職場にしたい
9	補助金や助成金について知りたい
7	残業を削減したい
6	就業規則等、制度面について
2	その他
1	育休取得者の職場復帰支援について

アドバイザー派遣企業からの声

課題が明確になった

本当の課題は多角的に考えて、初めて見えてきます。ヒアリングをするうちに、課題が別のところにある企業が多かったです。

定量的・定性的な現状把握ができた

数値的な管理が足りない企業や、数値ばかりで、行動を把握していない企業など現状把握方法をアドバイスしました。

会社の方向性を改めて考える機会となった

経営層からの相談も多く、施策へと入る前に会社の方向性を話し合い、そのうえで従業員へと伝えるようアドバイスしました。

人材育成へとつながった

働き方改革に取り組むにあたり、なぜ必要なのかを話し合ったり、生産性向上へ向けた業務改善の話し合いを通して、レベルアップしていきました。

働き方改革に取り組むきっかけとなった

何かしないといけないと考えてはいますが、何から着手すればいいのか困っている企業のきっかけづくりのお手伝いをしました。

次の施策を考えられた

働き方改革は一過性に終わっては意味がありません。継続的な取り組みへとつなげられるよう次の手を一緒に考えました。

わが社の働き方改革事例

有限会社 前田金属



三重県津市雲出長常1188-1

業種 金属スクラップ業

従業員数 17名

働き方改革に取り組む目的・相談内容

- ・業務特有の土曜日出勤をなくしたい
- ・今後、採用に困らないよう生産性を高め、働きやすい会社になりたい

取組内容

- ・事務職や作業員の多能工化を進める
- ・営業力を高めるため、情報の共有化をすすめチームで対応できるような体制を整える
- ・若手人材の採用を始める

効果・今後に向けて

- ・これまでなかなか着手できなかったHPのリニューアルや、事務所の新築を決定することができた
- ・意見交換が活発となった相乗効果で、新事業展開に向けて組織全体で取り組んでいる

有限会社 ケアフィット



三重県伊勢市小俣町宮前641-1

業種 福祉用具

従業員数 36名

働き方改革に取り組む目的・相談内容

今後の介護保険制度の動向を踏まえて、営業力の高い、強い会社へと変革していくため、課題を明確にして、今後の対策を考えていきたい。

取組内容

- ・数字目標はあるが、結果が伴わないこともあり、行動変容を促すため、会議の内容を数字中心から行動中心へと変更
- ・販売実績を上げるため中長期的な営業戦略を検討・策定
- ・事務時間削減に向けて情報を共有化

効果・今後に向けて

- ・営業方法が固定化していることに気づき、提案型営業へと力を入れている
- ・中長期的な戦略を考えるための時間が捻出できるようになった
- ・新たな営業活動にも時間が必要なため、更に事務時間を削減できるよう考えていきたい

株式会社 松治郎の舗



三重県松阪市中町1873

業種 小売業

従業員数 10名

働き方改革に取り組む目的・相談内容

スタッフ全員が女性で、様々な事情で退職してしまうのを防ぎたい。また、働く意欲の高い人を評価できる仕組みを作りたい

取組内容

- ・柔軟な働き方には業務の共有化が重要と考え、ipadを各店舗に設置し、LINE等による情報共有を実施。出勤時に業務状況をすぐに把握したうえで勤務できる体制を整える
- ・パート職員の正社員化を実施。人事評価を取り入れ、意欲のある人を適性に評価できる仕組みを整える

効果・今後に向けて

- ・情報共有が進み、店舗間での情報共有や、顧客対応など仕事がかすくなった
- ・正社員化に伴い、業務内容の把握や必要な能力要件を見直すことができた

あかり屋



三重県津市一身田町2819

業種 旅館・飲食業

従業員数 40名

働き方改革に取り組む目的・相談内容

パート職員が現場の要である。シフトの組み方で正社員が休みを取りにくい状況が続いており、改善したい

取組内容

- ・業務分析表を作成し、誰が何をしているのかを把握
- ・スタッフ(社員・パート)全体のシフトを見直し、閑散期・繁忙期の調整を行う
- ・モチベーションアップをはかるため、評価基準を策定する

効果・今後に向けて

- ・客数等、数値管理を行い、現状分析ができた
- ・経営幹部のマネジメントにも課題があると考え、幹部社員の役割を見直し、パート職員を含め全体の方向性など考えていきたい